令和8年度第1回保健福祉審議会専門分科会における委員意見対応表

（参考資料1-2）

No	施策項目等	意見	対応	意見が出た専門分科会
1	全般	高齢施策中心の内容になっているが、子ども、生活困窮なども重要な課題である。保健、医療、介護、生活支援、住まい等の包括的な支援体制の中で社協と連携しながら取り組んでもらいたい。	③参考意見 いただいたご意見は、今後の取組みの参考とさせていただく。	地域保健福祉
2	全般	公的主体がすべてのサービスを提供するということではない。将来的な負担増を抱え込まないためにも、もう少し民間事業者や市民の参画の呼び水となるような表現や施策を盛り込めないか。	①原案のとおり 民間事業者や市民の参画促進については、計画全体を貫く考え方として「計画推進にあたっての基本的な視点」の視点1に掲げた上で、施策1－3④「多様な主体の参画促進・ネットワークづくり」や施策2－2②「地域や職域などでの健康づくり」をはじめ、個別の施策においても市民や事業者等の参画・連携促進を主な取組みとして盛り込んでいるところであり、引き続き、多様な主体による共創・共働のもと施策を推進していく。	高齢者保健福祉
3	全般	全世代対象の計画であるが、全体的に高齢者施策中心という印象を受ける。地域でいちばん課題になってきているものの一つは、子どもたちの問題。大人になるまで地域が継続的に関わりながら支えるという視点についても、今後検討してほしい。	③参考意見 いただいたご意見は、今後の取組みの参考とさせていただく。	地域保健福祉
4	総論 6　計画推進にあたっての基本的な視点 5	AIやテクノロジーについては、介護分野だけでなく、地域包括ケア、住まい、社会参加、健康づくりなど幅広い分野に関わるものであり、各分野において活用の視点を盛り込むべき。	②修正・追加・削除 AIをはじめとした先端技術の活用については、計画全体を貫く考え方として「計画推進にあたっての基本的な視点」の視点5に掲げているところであり、保健福祉分野のあらゆる場面で活用を推進していく幅広い視点となるよう、「保健福祉分野の現場における」を「保健福祉分野における」に修正する。また、各分野におけるAIやICT等の活用に関する記載を追記する。	高齢者保健福祉
5	総論 6　計画推進にあたっての基本的な視点 5	テクノロジーを積極的に活用して見えない非効率を解消していくことが、巨大な税金負担を減らしていくためには不可欠であり、そのような立ち位置に立って、計画を考えていく必要がある。		高齢者保健福祉
6	総論 6　計画推進にあたっての基本的な視点 5	AIやテクノロジーの活用について、具体的にどのようなテクノロジーや製品の導入を推進していくのか、踏み込んだ議論がされてもいいのではないか。	③参考意見 いただいたご意見は、今後の取組みの参考とさせていただく。	高齢者保健福祉
7	総論 5　計画の目標、6　計画推進にあたっての基本的な視点 施策1-2① 人生100年時代の生き方を考えるための支援	これまでのような「学び、働き、引退」といった3段階ではなく、いつまでも学び続けて自らをアップデートし、柔軟にキャリアを転換できるような取組みが、本来の人生100年時代の考え方に沿った施策としては必要である。生涯学習やリカレント教育、キャリアを見直す機会の提供などについて盛り込むべき。	②修正・追加・削除 施策1-2①人生100年時代の生き方を考えるための支援 「何歳になっても自分らしい生き方を選択できるよう、新たな学びや多様な働き方を支援するとともに、様々な社会参加のきっかけづくりに取り組みます。」と追記する。 主な関連事業に「福岡100プラザ」「シニア活躍応援プロジェクト」「「まなびアイふくおか」による情報発信」を追記する。	地域保健福祉
8	全般	人生100年時代は到来しない、というのが学術界では定説になっている。平均寿命が今まで80年だったものが100年に全体的に延びると言えるエビデンスはない。	②修正・追加・削除 「人生100年時代」は長寿化が進む社会を象徴的に表す概念として用いている。なお、目標1の現状と課題に記載の「人生100年時代が目前に迫る中」については、概念としての「人生100年時代」に明確な到来時点があるかのような印象を与えるため削除する。	地域保健福祉
9	全般	「人生100年時代」という表現について、本計画を象徴するような、より良い表現がないか。「健康で生きがいを持ちながら最期まで」といったような表現を検討してもいいのではないか。	①原案のとおり 「人生100年時代」は長寿化が進む社会を象徴的に表す概念として用いているものであり、本計画の考え方を示しているため。	地域保健福祉
10	施策1-2① 人生100年時代の生き方を考えるための支援	「終活」という表現について、「自分らしく生き続けるための備え」など、より前向きな表現への見直しを検討してはどうか。	②修正・追加・削除 「人生のラストステージが自分らしい生き方となるように」と修正し、「終活支援事業」は「自分らしい人生応援事業」に修正、「主な関連事業」の概要欄の記載においても、前向きな表現となるよう修正する。	高齢者保健福祉
11	施策1-2① 人生100年時代の生き方を考えるための支援	エンディングノートには、もっと前向きに生きれるような、ポジティブな内容があったほうがいい。	③参考意見 いただいたご意見は、今後の取組みの参考とさせていただく。	高齢者保健福祉

令和8年度第1回保健福祉審議会専門分科会における委員意見対応表

（参考資料1-2）

No	施策項目等	意見	対応	意見が出た専門分科会
12	施策1-2① 人生100年時代の生き方を考えるための支援	主な関連事業に記載されている「エンディングノート」や「自分で決める人生ガイド」の概要説明が、配布が事業目的のような記載になっているため、見直したほうがいい。	**②修正・追加・削除** 「人生をプランニングし、最期まで自分らしく生きるための支援・啓発セミナーを実施。また、元気なうちから高齢期に向けた備えや意思表明・意思決定を行うことの大切さについて記載した「自分で決める人生ガイド」やエンディングノートを配布するなど、啓発を強化」と修正する。	高齢者保健福祉
13	施策1-2① 人生100年時代の生き方を考えるための支援	ACP(アドバンス・ケア・プランニング)は一般市民に分かりにくいため、用語説明や注釈を付けてはどうか。	**②修正・追加・削除** 注釈を追加する。	健康づくり
14	施策1-2① 人生100年時代の生き方を考えるための支援	多くの市民にとって地域福祉の課題は、当事者となるまで身近な問題として認識されにくい。そのため、市民が日頃から地域福祉に触れる機会を増やしていく視点が必要ではないかと考える。市民が民生委員などの地域活動に関心を持ち、理解を深めることを重視して考えてほしい。	**③参考意見** いただいたご意見は、今後の取組みの参考とさせていただく。	地域保健福祉
15	施策1-2② 孤独・孤立対策の推進	日常生活自立支援事業について、利用者の約8割が生活保護受給者であり、全国平均と比較しても割合が高い。今後、社会福祉法改正により、対象者が拡大する中、市社協だけでの対応は難しく、必要な体制整備について、市と市社協で十分に検討していく必要がある。	**③参考意見** いただいたご意見は、今後の取組みの参考とさせていただく。	地域保健福祉
16	施策1-2② 孤独・孤立対策の推進	昔と違って近隣住民同士で見守りするのは難しく、新たな仕組みづくりが重要である。また、コンビニや図書館や公民館など、身近な場を活用しながら、地域とのつながりを築いていくことも大切だと考える。	**③参考意見** いただいたご意見は、今後の取組みの参考とさせていただく。	地域保健福祉
17	施策1-2② 孤独・孤立対策の推進	孤独・孤立の解消に向けては、属性横断的な、誰でも来れる、一定の相談機能も備えた居場所や地域カフェを市内に増やしていく手法を検討する必要があるのではないか。	**③参考意見** いただいたご意見は、今後の取組みの参考とさせていただく。	地域保健福祉
18	施策1-2② 孤独・孤立対策の推進	実際に施策を主体的に担うのは自治協議会や社会福祉協議会など地域の組織である。地域側が動きやすいように、どのように活動すればいいのか具体的に示してもらいたい。	**③参考意見** いただいたご意見は、今後の取組みの参考とさせていただく。	地域保健福祉
19	施策1-2 ②孤独・孤立対策の推進 ③権利擁護の推進	社会福祉法改正について、成年後見制度の民法改正とも密接に関連している。成年後見制度、新たな第二種社会福祉事業(日常生活自立支援事業)、地域権利擁護相談支援センター(中核機関)がそれぞれ繋がり合って基盤を強化することで、制度全体が円滑に機能すると考える。	**③参考意見** いただいたご意見は、今後の取組みの参考とさせていただく。	地域保健福祉
20	施策1-2③ 権利擁護の推進	主な関連事業の「成年後見推進センター運営事業」と「日常生活自立支援事業」については、対象者の違いが分かるよう、表現を整理すべき。	**②修正・追加・削除** 各事業の対象者の違いが分かるよう、日常生活自立支援事業及び成年推進センター運営事業の説明を修正する。	地域保健福祉
21	施策1-2④ 認知症フレンドリーシティ・プロジェクトの推進	市民ニーズが高い認知症予防に関する情報提供と、認知症になっても活躍できるという新しい認知症観の普及啓発を組み合わせて発信してはどうか。	**③参考意見** いただいたご意見は、今後の取組みの参考とさせていただく。	高齢者保健福祉
22	施策1-2④ 認知症フレンドリーシティ・プロジェクトの推進	認知症フレンドリーシティの推進にあたり、「RUN伴」など認知症の人や地域住民、専門職、企業等が参加する取組みへの市の関与について検討してほしい。	**③参考意見** いただいたご意見は、今後の取組みの参考とさせていただく。	高齢者保健福祉
23	施策1-2　自分らしく暮らし続けられるまちづくり 施策1-3　共創による地域福祉活動の推進	国の社会福祉法改正により市社協に業務が集中し、市社協の負担が増している。市社協の体制強化や支援のあり方について、今後さらに検討してほしい。	**③参考意見** いただいたご意見は、今後の取組みの参考とさせていただく。	地域保健福祉

令和8年度第1回保健福祉審議会専門分科会における委員意見対応表

（参考資料1-2）

No	施策項目等	意見	対応	意見が出た専門分科会
24	施策1-2　自分らしく暮らし続けられるまちづくり 施策1-4② 相談支援体制の強化	社会福祉法改正や成年後見制度の見直しを踏まえ、これからの動きとして、孤独・孤立対策や権利擁護、相談支援体制の充実について計画の中で触れておいたほうがいいのでは。	**①原案のとおり** 孤独・孤立対策については、社会福祉福祉法改正等を受け、次期計画より「主な取組み」に項目を追加し、相談支援や身寄りのない高齢者等への支援について記載している。 権利擁護及び相談支援体制の充実においては、社会福祉法改正や成年後見制度の見直しの趣旨を踏まえた方向性を記載しており、今後の国における制度運用や施策の動向を見ながら具体的な取組みを進めていく。	高齢者保健福祉
25	施策1-3　共創による地域福祉活動の推進	地域福祉を市社協に頼りすぎるのではなく、地域の福祉サービスの事業所がもっと地域福祉に貢献できるような仕組みをつくり、地域福祉を担う事業所が増えていくと良い。それが個別支援の質の向上ややりがいにもつながると考える。	**③参考意見** いただいたご意見は、今後の取組みの参考とさせていただく。	地域保健福祉
26	施策1-3 共創による地域福祉活動の推進	医療や福祉サービスに行き着くことができない人の受け皿は地域であり、地域の見守りの仕組み等、地域が担い手となる。地域の負担が年々大きくなる中、地域の努力だけでは解決できない課題も多く、行政がどのように支援していくかを、より具体的に示すことが、この計画の実効性につながると考える。	**①原案のとおり** 記載については原案のとおりとし、いただいたご意見は、今後の取組みの参考とさせていただく。	地域保健福祉
27	施策1-3② 見守りと支え合い活動の推進	ふれあいネットワークが災害時の取組みとして捉えられているが、日常的な地域の見守り活動としても幅広く活動していることをしっかり位置付け直してほしい。	**①原案のとおり** ふれあいネットワークは、災害時だけでなく、日常的な見守り活動としても重要であると認識しており、「施策1-3②見守りと支え合い活動の推進」の主な取組みとして位置付けている。	地域保健福祉
28	施策1-3③ 活動を担う人材の育成、場づくり	公民館の役割について、もう少し強調してもよいのではないか。公民館は地域における重要な拠点であり、その役割や機能をさらに明確化し、それを担う人員配置も検討することで、もっと有効に活用できるのではないか。	**③参考意見** いただいたご意見は、今後の取組みの参考とさせていただく。	地域保健福祉
29	施策1-3③ 活動を担う人材の育成、場づくり	社協の会長・副会長に共有されている地域の情報について、公民館にも共有してもらいたい。	**③参考意見** いただいたご意見は、今後の取組みの参考とさせていただく。	地域保健福祉
30	施策1-3③ 活動を担う人材の育成、場づくり	地域の集会所はあまり活用されていないので、もっとうまく活用できないか。集会所を公民館の下に位置付けるような形で考えてもらえば、変わってくるのではないか。	**③参考意見** いただいたご意見は、今後の取組みの参考とさせていただく。なお、公民館は、地域住民の生涯学習やコミュニティ活動を支援する市の施設で、集会所は自治会・町内会が所有し運営する施設であり、その設置目的や管理運営の仕組みは異なる。	地域保健福祉
31	施策1-4① 包括的支援体制の充実	障害者手帳を持っていない人や福祉サービスに繋がっていない人こそ本当に支援が必要であり、成果指標に関するアンケート調査結果には十分反映されていない可能性がある。その人たちにこそ必要な情報を届ける取組みを強化してもらいたい。また、障がい者基幹相談支援センターは地域包括支援センターと比べると認知度が十分とは言えないため、存在を知ってもらうことが重要である。	**③参考意見** いただいたご意見は、今後の取組みの参考とさせていただく。	地域保健福祉
32	施策1-4① 包括的支援体制の充実 〇地域包括ケアの推進	地域ケア会議など既存施策の充実が中心で記載されているが、地域包括ケアは会議や制度そのものでなく、地域包括支援センターの職員が中心になって、多職種を調整・コーディネートすることで機能している。今後の取組みとしては、「地域包括ケアを担う人材の育成」、「コーディネーター人材の育成や体制強化」について、記載すべきではないか。	**②修正・追加・削除** 「また、地域包括ケアに関わる関係者間で、地域包括ケア推進の方向性について共通理解を深めるとともに、「保健（予防）」「医療」「介護」「生活支援」「住まい」等の地域資源を有機的につなぐコーディネート機能の充実を図り、地域包括ケアの深化に取組みます。」を2点目の文に追加。	地域保健福祉 高齢者保健福祉
33	施策1-4① 包括的支援体制の充実 〇障がいのある人の支援体制の充実	「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築」という記載とは別に、「精神障がいのある人も、地域で安心して暮らしやすくするための普及啓発を推進」とあるが、これは地域包括ケアシステムに包含されている概念であるため、記載を見直してはどうか。	**②修正・追加・削除** 「精神障がいのある人も、地域で安心して暮らしやすくするため、普及啓発や保健・医療・福祉関係者協議の活用など、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築を推進します」と記載する。	健康づくり

令和8年度第1回保健福祉審議会専門分科会における委員意見対応表

（参考資料1-2）

No	施策項目等	意見	対応	意見が出た専門分科会
34	施策1-4① 包括的支援体制の充実 〇障がいのある人の支援体制の充実	精神障がい者への支援について、地域移行だけでなく退院後の地域生活の支援について記載してほしい。	**②修正・追加・削除** 「保健・医療・福祉関係者協議の活用、地域の情報共有・市と区の連携、精神障がい者の家族支援、精神障がい者の地域移行や地域生活支援に関係する職員に対する研修やピアサポートの活用に係る事業、アウトリーチ支援に係る事業や、入院中の精神障がい者の地域移行に係る事業についての検討、医療機関との連携体制構築を実施」と記載する。	健康づくり
35	施策2-1① 生活習慣の改善	生活習慣病の発症予防と重症化予防についての取組みを引き続き推進してほしい。	**③参考意見** いただいたご意見は、今後の取組みの参考とさせていただく。	健康づくり
36	施策2-1① 生活習慣の改善 〇歯・口腔の健康	事業指標では「歯科検診」と記載されているが、計画原案では「歯科健診」と記載されている。 事業指標の記載についても「歯科健診」とした方がよいのではないか。	**②修正・追加・削除** 計画原案の記載を「歯科健(検)診」に修正する(事業名は除く)。	健康づくり
37	施策2-1② 生活習慣病の発症予防と重症化予防 〇循環器病、糖尿病などの対策	「循環器病、糖尿病などの対策」の「循環器病」の後に「脳卒中、心臓病」を加えてほしい。	**②修正・追加・削除** 「脳卒中・心臓病などの循環器病」と記載する。	健康づくり
38	施策2-1④ こころの健康づくり 施策2-1⑤ ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり 〇子どもの健康づくり	不登校の小中学生への支援及び健康づくりについて計画への位置付けを検討してはどうか。	**①原案のとおり** 不登校児童生徒の支援については、第3次福岡市教育振興基本計画に位置づけているため。	健康づくり
39	施策2-1⑤ ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり	未婚率の上昇や少子化、若い人たちの受診前の心理的な孤立などの課題が大きい。若年成人向けの心の健康づくりも含めて、プレコンセプションケアとか、若いうちの妊娠・出産といった視点を入れてほしい。	**①原案のとおり** プレコンセプションケアは、妊娠・出産に限った取組みではないため。	障がい者保健福祉
40	施策2-1⑤ ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり 〇子どもの健康づくり	PHR(パーソナル・ヘルス・レコード)やICT活用について、母子健康手帳の電子化を計画に位置付けてはどうか。	**①原案のとおり** 令和8年3月31日に電子版母子健康手帳の国ガイドラインが発出され、今後、国が具体的な方針を示していく予定であるため、市としては国の動向を注視する。	健康づくり
41	施策2-1⑤ ライフコースアプローチを踏まえた健康づくリ 〇子どもの健康づくり	スマートフォン等の利用による健康影響について、近視だけでなく脳や情緒の発達への影響も含めて記載してはどうか。	**①原案のとおり** スマートフォン等の使い方を含む、子どもたちが規則正しい生活習慣などを身に付けるための家庭教育の支援については、第3次福岡市教育振興基本計画に位置づけているため。	健康づくり
42	施策2-1⑤ ライフコースアプローチを踏まえた健康づくリ 〇子どもの健康づくり	スマートフォン等の利用による健康影響について、近視だけでなく肥満との関連性も含めて記載してはどうか。	**①原案のとおり** スマートフォン等の使い方を含む、子どもたちが規則正しい生活習慣などを身に付けるための家庭教育の支援については、第3次福岡市教育振興基本計画に位置づけているため。	健康づくり
43	施策2-1⑤ ライフコースアプローチを踏まえた健康づくリ 〇高齢者の健康づくり	健康づくりやフレイル予防の推進にあたり、家事や散歩などの日常生活における身体活動量(METs)の考え方を活用した啓発について検討してはどうか。	**③参考意見** いただいたご意見は、今後の取組みの参考とさせていただく。	高齢者保健福祉
44	施策2-1⑤ ライフコースアプローチを踏まえた健康づくリ 〇高齢者の健康づくり	健康づくりやフレイル予防の推進にあたり、ナッジや楽しさを取り入れるなど、自然と身体活動につながる取組みを検討してはどうか。	**③参考意見** いただいたご意見は、今後の取組みの参考とさせていただく。	高齢者保健福祉
45	施策2-2 健康づくりの推進	職場での健康づくりの取組みを引き続き推進してほしい。	**③参考意見** いただいたご意見は、今後の取組みの参考とさせていただく。	健康づくり

令和8年度第1回保健福祉審議会専門分科会における委員意見対応表

（参考資料1-2）

No	施策項目等	意見	対応	意見が出た専門分科会
46	施策2-3① 社会参加のきっかけづくりと活動・活躍の場の創出	高齢者の社会参加を促進するため、地域の中で事業所における小さな仕事や役割と高齢者をつなぐマッチングの仕組みについて検討してはどうか。	③参考意見 いただいたご意見は、今後の取組みの参考とさせていただく。	高齢者保健福祉
47	施策2-3① 社会参加のきっかけづくりと活動・活躍の場の創出	ふくふくクラブ福岡（老人クラブ）について、会員数の減少や役員の担い手不足への対応を含め、活動継続に向けた支援が必要ではないか。	③参考意見 いただいたご意見は、今後の取組みの参考とさせていただく。	高齢者保健福祉
48	施策2－3① 社会参加のきっかけづくりと活動・活躍の場の創出	高齢者乗車券制度は、所得制限があるものの、多くの70歳以上の方にとって社会参加を支える重要な制度であるため、計画にも記載しながら今後さらに充実を図ってほしい。	③参考意見 現在、高齢者乗車券の拡充に向けた検討を進めているところである。いただいたご意見を参考に、充実や利便性の向上を図っていく。	地域保健福祉
49	施策2-3③ 様々な働き方の支援	シルバー人材センターにおける就労支援について、安全に働き続けられるよう、就労中や通勤時の事故防止に向けた取組みについても記載してはどうか。	①原案のとおり シルバー人材センターにおける就業中や通勤時の事故防止に向けた取組みは重要であると認識しており、シルバー人材センターへの人的・財政的支援の中で、安全対策を含む各種取組みへの支援を引き続き行うこととしているため。	高齢者保健福祉
50	施策2－3④ 障がいのある人の外出・移動の支援	本計画とバリアフリー基本計画が別ものとして進むのではなく、一体感を持たせられたらよい。（情報支援と移動支援）	③参考意見 いただいたご意見は、今後の取組みの参考とさせていただく。	障がい者保健福祉
51	施策2－3④ 障がいのある人の外出・移動の支援	ガイドヘルパーが運転して移動を支援することは認められていない。国の制度ではあるが、市の対応を改めて要望する。	③参考意見 いただいたご意見は、今後の取組みの参考とさせていただく。	障がい者保健福祉
52	施策3-1　適切な医療の提供、 福祉サービス・支援の実施	社会福祉法改正により設置される福祉人材確保協議会や生産性向上に関する取組みについて、計画への反映など今後どのようにしていくのか、検討してもらいたい。	③参考意見 県の動向を踏まえて今後の取組みを検討させていただく。	高齢者保健福祉
53	施策3-1　適切な医療の提供、福祉サービス・支援の実施	障がい児者の歯科医療について、専門的診療体制や相談支援体制の充実を計画に位置付けてはどうか。	②修正・追加・削除 「施策3-1⑥医療体制の充実 「・障がいのある人への歯科医療提供体制の構築に向けて支援します。」と記載する。	健康づくり
54	施策3-1 適切な医療の提供、福祉サービス・支援の実施	在宅で療養する重症難病患者支援の記載について、介護者を「家族」に限定する必要はないのではないか。	②修正・追加・削除 「家族など」に修正する。	健康づくり
55	施策3-1② 適切な介護サービスの実施	介護事業所へのAI・DX導入だけでなく、行政側においても、制度解釈や加算算定等に関する問い合わせ内容のデータベース化やAIチャットボットの活用など24時間対応できるような仕組みを作ってもらいたい。	③参考意見 いただいたご意見は、今後の取組みの参考とさせていただく。	高齢者保健福祉
56	施策3-1② 適切な介護サービスの実施	65歳未満の世代に対して、これから関わることになる介護について伝えることに力を入れてほしい。	③参考意見 いただいたご意見は、今後の取組みの参考とさせていただく。	高齢者保健福祉
57	施策3-1② 適切な介護サービスの実施	介護にはお金がかかることを知らない人も多い。介護が必要となる前の段階から、介護にはお金がかかるイメージを持ってもらうことも必要である。健康維持と併せて伝えていくことが必要ではないか。	③参考意見 いただいたご意見は、今後の取組みの参考とさせていただく。	高齢者保健福祉
58	施策3ー1④ 適切な障がい福祉サービスの実施	64ページに記載がある障がい福祉サービス事業所を監視・監督する仕組みをもっと強化する必要がある。	③参考意見 いただいたご意見は、今後の取組みの参考とさせていただく。	障がい者保健福祉

令和8年度第1回保健福祉審議会専門分科会における委員意見対応表

（参考資料1-2）

No	施策項目等	意見	対応	意見が出た専門分科会
59	施策3ー1④ 適切な障がい福祉サービスの実施	障がいサービス事業所が増えていく中で、総量規制をどう考えるのか。	**①原案のとおり** 総量規制については、ニーズと供給の状況を踏まえて検討していくべき課題と認識している。	障がい者保健福祉
60	施策3ー4④ 動物愛護・適正飼育の推進	人と動物との関係は、心身の健康、社会参加、認知症予防等に寄与するため、その効果や取組みを計画に位置付けてはどうか。	**①原案のとおり** いただいたご意見は、今後の取組みの参考とさせていただく。 なお、動物による心身の健康等への寄与については認識しており、より良い人と動物との関係を構築するために、動物愛護や適正飼育を推進していく。	健康づくり
61	施策3-5 災害への備えの充実	要配慮者には、高齢者や障がいのある人だけでなく、子どもや母子も含むということでよいか。高齢者や障がいのある人に限定されたような書き方が気になる。	**①原案のとおり** 「高齢者や障がいのある人などの要配慮者」は、高齢者や障がいのある人のほか、乳幼児や妊産婦などを含むものとして記載している。	健康づくり
62	施策3-5 災害への備えの充実	避難所環境について、温かい食事や清潔なトイレに加えて、冷暖房設備、適切な避難スペースの確保、簡易ベッド等の環境整備を記載してはどうか。	**②修正・追加・削除** 「簡易ベッド等」を追記する。	健康づくり
63	施策3-5②災害時の保健医療福祉体制の充実	DHEAT派遣体制だけでなく、災害保健活動を担う人材育成や受援体制の強化について記載を充実してはどうか。	**②修正・追加・削除** 本文中の記載を「…関係機関等と連携した、受援及び支援に係る訓練や…」と修正する。	健康づくり
64	成果指標	成果指標として主観的なアンケート結果に目標値を設定することに違和感がある。客観的な指標を数値目標としなければ、適切な評価ができないのではないか。	**③参考意見** 計画の進捗状況については、成果指標だけではなく、客観的な指標である事業指標の推移や事業の取組状況などを合わせて総合的に評価することとしている。	地域保健福祉
65	成果指標 施策1-2　自分らしく暮らし続けられるまちづくり	「認知症の人が自分らしく暮らし続けることができると思う人の割合」の目標値（26.4%→50%）は、ハードルが高いように思うがどうか。	**①原案のとおり** 目標値については、施策を推進していくことで達成可能と考えているため。	高齢者保健福祉
66	成果指標 施策1-3　地域福祉活動に参加している	成果指標に係る市民アンケート調査結果について、地域福祉活動に参加している人の割合が14%となっているが、地域福祉活動の例が市社協や民生委員の活動等に限られている。地域における声掛けや学校における福祉教育等も地域福祉活動の一つであるが、このアンケート上はそのような認識が持たれていないのではないか。この数値を成果指標とするのはいかがかと思う。	**①原案のとおり** 成果指標に係る市民アンケートについては、計画における関連事業等との繋がりが見えやすいよう、計画に記載する地域福祉活動を中心に例示した上で、調査を実施した。成果指標については原案のとおりとするが、委員意見のとおり、本来、地域福祉活動の取組みは非常に幅広いものであり、引き続き、様々な地域福祉活動に関する啓発などを実施していく。	地域保健福祉
67	事業指標	事業指標の内容についても今後、さらに追加・充実できる項目について検討してもらいたい。	**③参考意見** 事業指標については、取組みを進める中で毎年の事業進捗を測る際の指標として示していくこととしており、いただいたご意見は、今後の計画の進行管理などにおいて参考とさせていただく。	地域保健福祉
68	事業指標 施策1-1　インクルーシブなまちづくり	バリアフリー化や研修参加者数だけでなく、多様な人の地域活動への参加や役割の創出など、インクルーシブな状態を評価できる指標についても検討してはどうか。		高齢者保健福祉
69	事業指標 施策3-1　適切な医療の提供、福祉サービス・支援の実施	事業所の経営支援について、「コンサルタント派遣事業所数・回数」だけではなく、経営改善や人材確保などの成果を評価できる指標も必要ではないか。		高齢者保健福祉
70	事業指標 施策3-4　健康・安全な環境づくり	学校での薬物乱用防止啓発に関する授業・講演の実施状況を追加してはどうか。		健康づくり